

地球温暖化についての区民意識調査

区民の皆様には、平素から板橋区の環境行政にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

区では、平成 24 年度に策定した「板橋区地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の計画期間(平成 25 年度～令和 2 年度)の満了を来年度末に控え、新たな計画の策定を行うこととなりました。

計画の策定にあたっては、区民や事業者の皆様にご協力いただき、地球温暖化についての意識調査を行い、計画に反映していきたいと考えております。

この調査の対象者は、区内の世帯主の方々から無作為に 1,500 名を選ばせていただきました。また、調査は無記名で、調査結果につきましては統計的な処理をいたしますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

大変お手数ですが、このアンケートの目的、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 11 月

板橋区長 坂本 健

【ご記入に当たってのお願い】

1. **あて名のご本人**がご回答ください。
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. 次の要領でご回答ください。
 - アンケート調査票に直接ご記入ください。
 - ボールペンや濃い鉛筆などではっきりとご記入ください。
 - 選択回答の場合は、あらかじめ設けてある**選択肢の中から選んで番号に○印**をつけてください。
 - 回答の○の数は**(○は1つだけ)(○は3つまで)**などのように指定していますのでそれに**合わせて**ください。
 - 質問は、**1 ページから順に最後まで**お答えください。
(15分程度で回答できます。)

◎ご記入いただいた調査票は、**同封の返信用封筒(切手不要)**に入れて、**令和元年11月27日(水)まで**にご投函ください。

◎返信用封筒に**氏名・住所**をご記入いただく必要はありません。

◎ご返送いただいた調査票は、**調査終了後に区が責任をもって廃棄**いたします。

【お問い合わせ先】板橋区 資源環境部 環境政策課 脱炭素社会推進係

電話：03-3579-2622 (山崎、岩永、渡邊)

(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時)

【調査委託先】 エヌエス環境株式会社 技術本部 技術部

電話：03-5405-1241 (高草、鈴木)

あなたのご家庭について

問1 あなたの年齢 (Oは1つ)

- | | | | |
|--------|----------|--------|--------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 | 4. 50代 |
| 5. 60代 | 6. 70代以上 | | |

問2 あなたの性別 (Oは1つ)

- | | | |
|-------|-------|--------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. どちらともいえない |
|-------|-------|--------------|

問3 あなたの世帯の人数 (Oは1つ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人 | 6. 6人 | 7. 7人 | 8. 8人以上 |

問4 あなたの家族形態 (Oは1つ)

- | | | |
|----------|------------|--------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ | 3. 2世代 |
| 4. 3世代以上 | 5. その他 () | |

問5 あなたのお住まいの種類 (Oは1つ)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 一戸建て (家屋専用) | 2. 一戸建て (商店・事務所併設) |
| 3. 集合住宅 (アパート・マンション) | 4. その他 () |

問6 あなたのお住まいの所有形態 (Oは1つ)

- | | |
|--------|-------|
| 1. 持ち家 | 2. 賃貸 |
|--------|-------|

問7 あなたの職業 (Oは1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 会社員 (正社員) | 2. 会社員 (契約社員) | 3. 公務員 |
| 4. 自営業・自由業 | 5. 会社役員・経営者 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 学生 | 8. 専業主婦 (夫) | 9. 無職 |

ご家庭での取り組み状況（ライフスタイルの転換に係る取り組み）

問 8 地球温暖化を防ぐため、現在、あなたのご家庭で実施しているライフスタイルの転換に係る取り組みを教えてください。（項目ごとに〇は1つ）

注）該当する機器を保有していないなどの場合は、「4（該当しない）」に〇をつけてください。



※このマークの詳細は P15 の「SDGs とは」をご覧ください。

	取り組み内容 [項目]	はい	ときどき	いいえ	該当しない
リビング	エアコン、ファンヒーターなどは効率よく使用する	1	2	3	4
	エアコン、ファンヒーターなどのフィルターをこまめに掃除する	1	2	3	4
キッチン	食器洗いは低温で行い、夏の間は水洗いにする	1	2	3	4
	冷蔵庫の設定温度を「強」→「中」にする	1	2	3	4
	調理時は火がなべ底からはみ出さないように調節する	1	2	3	4
浴室洗面所	風呂の残り湯は、水まき・洗濯などに再利用する	1	2	3	4
	間隔をあけずに続けて入浴する	1	2	3	4
	洗面やシャワーのときに水を流しっぱなしにしない	1	2	3	4
	便座の暖房はこまめに調節する	1	2	3	4
暮らし	電化製品のスイッチを、こまめに切る	1	2	3	4
	環境にやさしいマーク（エコマーク）を見て商品を選ぶ	1	2	3	
	フローリングや畳では掃除機を「強」→「弱」にする	1	2	3	4
	洗濯はまとめて効率よくする	1	2	3	4
	天気の良い日は、洗濯物を乾燥機ではなく天日で乾かす	1	2	3	4
	省エネルギー型の家電製品を優先して購入する	1	2	3	
	環境に関連するイベントに参加したことがある	1	2	3	
	植物や生き物などの身近な自然を見たり触れたりしている	1	2	3	
「緑のカーテン（建物の壁を植物で覆うことで、建物の温度上昇を抑える取り組み）」をしている	1	2	3		

	取り組み内容 [項目]	はい	とき どき	いいえ	該当 しない
移動	エレベーターの利用は控え、階段を使うようにする	1	2	3	4
	自動車の利用を控え、公共交通機関や自転車等を利用する	1	2	3	4
	自動車を利用するときは、相乗りをする	1	2	3	4
	エコドライブをしている（急発進・急加速をしない）	1	2	3	4
	アイドリングストップ（自動車の停止中にエンジンを止めること）をしている	1	2	3	4

問10 あなたのご家庭での再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備などの利用状況、または今後の意向について教えてください。(項目ごとに○は1つ)



設備などの種類 [項目]	導入済み	導入検討中 (予定も含む)	導入予定はないが 関心はある	導入予定はなく 関心もない
① 太陽光発電	1	2	3	4
② 太陽熱利用 (太陽熱温水器、ソーラーシステムなど)	1	2	3	4
③ クリーンエネルギー自動車 (電気自動車、ハイブリッド車、燃料電池車など)	1	2	3	4
④ 高効率給湯器 (エコキュート、エコジョーズなど)	1	2	3	4
⑤ 天然ガスコージェネレーションシステム (エコウィルなど)	1	2	3	4
⑥ バイオマス利用※1 (ペレットストーブなど)	1	2	3	4
⑦ 雨水利用 (雨水貯留タンク・雨水浸透ますなど)	1	2	3	4
⑧ 建物の断熱化 (二重ガラス、断熱壁など)	1	2	3	4
⑨ HEMS※2 (ホームエネルギーマネジメントシステム)	1	2	3	4
⑩ 水素技術の利用 (燃料電池〔エネファーム〕、燃料電池自動車〔水素自動車〕)	1	2	3	4
⑪ 再生可能エネルギーの利用 (再生可能エネルギー100%あるいは再生可能エネルギー比率が高い電力会社との契約)	1	2	3	4

※1 植物などの生物資源の燃焼・ガス化により発生した熱を利用すること。

※2 家庭で使うエネルギーをかしこく管理するシステムのこと。電気・ガス・水道の使用量をモニター画面などで「見える化」および「制御」が可能



問 15 今年の冬においても節電の取り組みを続けますか。(〇は1つ)

1. 昨年より、節電に取り組む
2. 昨年通り、節電に取り組む
3. 昨年ほどではないが節電に取り組む
4. 節電には取り組まない
5. わからない

問 16 あなたの家庭で今後も積極的に節電や地球温暖化対策に取り組んだ場合、現在と比べて5年後に、電気・ガス・ガソリンなどのエネルギー使用量をどの程度削減できるか、根拠がなくても結構ですので、直感でお答えください。(〇は1つ)



1. 25%以上の削減は可能
2. 15%程度は可能かもしれない
3. 現在とほとんど変わらない
4. むしろ増加するかもしれない
5. わからない
6. その他 ()

ご家庭での取り組み状況（資源循環に係る取り組み）

問 17 「板橋かたつむり運動※」を知っていますか。(〇は1つ)



1. 名称も内容も知っている
2. 名称は知っているが内容は知らない
3. 名称も内容も知らない

※「かたつむりのおやくそく」を合言葉に、「かたづけじょうず」、「たいせつにつかう」、「つかいきる」、「むだにしない」、「りさいくる」を推進する運動

地球温暖化（気候変動）の対策：緩和と適応

問 19 地球温暖化の対策として、温室効果ガスの排出削減と吸収を行うことを「緩和」、温暖化による影響や被害を軽減することを「適応」と言いますが、あなたはこの「緩和」、「適応」という言葉の意味を知っていましたか。（〇は1つ）



1. 「緩和」も「適応」も知っている
2. 「緩和」のみ知っている
3. 「適応」のみ知っている
4. 両方とも知らない

【緩和とは？ 適応とは？】

地球温暖化対策として、省エネの取り組みや、再生可能エネルギーなどの低炭素エネルギー、発生するCO₂の回収・貯留技術の普及、植物によるCO₂の吸収源対策などが取り組まれています。このように、温室効果ガスの排出削減と吸収の対策を行うことを「緩和」といいます。

また、近年、世界各地で気温の上昇などが起こり、異常気象や自然災害の発生などの気候変動の影響が現れています。気候変動は、私たちの食べる物やみなさんの健康にも様々な影響を与え、その影響は今後さらにひどくなっていくかもしれません。こうした気候変動の影響に対処し、被害を少なくすることを「適応」といいます。

緩和とは？ 適応とは？



人間社会や自然の生態系が危機に陥らないためには、実効性の高い温室効果ガス排出削減の取組を行っていく必要があります。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力が必要です。

緩和を実施しても気候変動の影響が避けられない場合、その影響に対処し、被害を回避・軽減していくことが適応です。

問20 地球温暖化による気候変動（猛暑や局地的大雨などの、極端な気象現象の増加など）についてうかがいます。あなたは、次の気候変動による影響について、どのように感じていますか。（項目ごとに〇は1つ）



	影響の種類 [項目]	が あ る と も 実 感	あ る 程 度 実 感	ど ち ら で も 実 感	あ ま り 実 感	ま た 実 感
①	気温の上昇による熱中症の増加などの影響	1	2	3	4	5
②	猛暑日や熱帯夜の増加による不快感への影響	1	2	3	4	5
③	デング熱をはじめとする感染症の増加などの影響	1	2	3	4	5
④	農作物の収穫量減少などによる食料生産への影響	1	2	3	4	5
⑤	いわゆる「ゲリラ豪雨」など局地的な大雨の影響	1	2	3	4	5
⑥	台風の大型化などによる影響	1	2	3	4	5
⑦	絶滅危惧種の増加などによる生態系への影響	1	2	3	4	5
⑧	夏場の渇水や断水などによる水資源への影響	1	2	3	4	5
⑨	暴風などによる停電の影響	1	2	3	4	5
⑩	北極等の氷の融解による海面上昇の影響	1	2	3	4	5
⑪	過耕作、過開拓、森林減少などによる干ばつや砂漠化の影響	1	2	3	4	5

問 2 1 地球温暖化（気候変動）に伴う影響に対処するために区が優先的に進めていくべき適応策はどの分野だと考えますか。（〇は3つまで）



1. 自然災害（洪水、土砂崩れ）
2. 健康（熱中症、感染症）
3. 水環境・水資源（湧水、水質保全）
4. 農業・水産業（食糧の供給）
5. 区民生活全般（家屋、交通、ヒートアイランド）
6. 産業・経済活動（技術開発・観光産業）
7. 自然生態系（生物多様性の確保）
8. その他（）

パリ協定について

問 2 2 平成 27（2015）年に採択された気候変動問題に関する、国際的な枠組みである「パリ協定」をご存知ですか。（〇は1つ）

1. 内容を把握している
2. 名称だけ聞いたことがある
3. 全く聞いたことがない

問 2 3 「パリ協定」の長期目標では、「21 世紀後半には、温室効果ガス排出量と森林などによる吸収量の均衡を達成する」こととされています。あなたは、この目標の達成に向けて取り組むかどうか。理由もあわせてお答えください（〇は1つ）

1. 取り組む
その理由（）
2. 取り組まない
その理由（）

【パリ協定とは】

令和2（2020）年以降の気候変動問題に関する、国際的な枠組みで、平成27（2015）年12月に、第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）が開催されたパリにて採択されました。1997年に定められた「京都議定書」の後継となるものです。パリ協定では、世界共通の長期目標を以下のように掲げています。

① 世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする

② できるかぎり早く世界の温室効果ガス排出量をピークアウトし、21世紀後半には、温室効果ガス排出量と（森林などによる）吸収量のバランスをとる

日本では、中期目標として、2030年度の温室効果ガスの排出を2013年度の水準から26%削減することが目標として定められています。主要国の約束草案（温室効果ガスの排出削減目標）に示された各国の比較は以下の表になります。

国名	1990年比	2005年比	2013年比
日本	▲18.0%	▲25.4%	▲26.0% (2030年までに)
米国	▲14～16%	▲26～28% (2025年までに)	▲18～21%
EU	▲40% (2030年までに)	▲35%	▲24%
中国	<ul style="list-style-type: none"> 2030年までに2005年比でGDP当たりの二酸化炭素排出を60～65%削減 2030年頃に二酸化炭素排出のピークを達成 		
韓国	<ul style="list-style-type: none"> 2030年までに、対策を講じなかった場合の2030年比で37%削減 		

※日本は2013年基準の数値、米国は2005年基準の数値、EUは1990年基準の数値を削減目標としている。

※令和元年9月23日にあった気候行動サミットでは、2030年の削減目標に向けて、2020年までに更新することになっているが、70か国が目標の上積みを約束し、日本は上積みを約束していない。

※米国はパリ協定離脱を発表しており、離脱時期は早くて令和2(2020)年11月4日となっている。(令和元年11月現在)

表の出典：経済産業省

SDGsについて

問 2 4 平成 27 (2015) 年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」をご存知ですか。(〇は1つ)

1. 内容を把握している
2. 名称だけ聞いたことがある
3. 全く聞いたことがない

問 2 5 SDGsには下記の 17 の目標が定められていますが、あなたがこの中で関心のあるものはなんですか。(〇は3つまで)

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基礎をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任、つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を達成しよう
18. 特になし

問 2 6 地球温暖化対策のうち、SDGsに示される 17 の目標に関連し、あなたは何か具体的な行動・取り組みを行っていますか。すでに取り組みを行っている場合は、取り組み内容及び関連すると思われる目標をお答えください。

※関連する目標は上記の設問における番号をご記入ください。(〇は1つ)

1. すでに行っている 関連する目標 ()
取り組み内容 ()
2. 今後行う予定である
3. 今後とも行う予定はない

問 2 7 地球温暖化対策のうち、SDGsの目標に関連する取り組みを実施するにあたり、支障となる事柄はなんですか。(〇は3つまで)

1. 何に取り組むべきかわからない
2. 取り組みに必要な人手・費用が確保できない
3. 周囲の理解が得にくい
4. 取り組んだ成果がわかりづらい
5. 行政などからの支援が少ない
6. その他 ()

【SDGs とは】

平成 27（2015）年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2030 年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための 17 の目標です。地球上の誰一人として取り残さないことを誓っていて、日本としても積極的に取り組んでいます。また、環境先進都市として SDGs を見据えた取り組みを板橋区は推進していきます。



板橋区に期待する取り組み

問 2 8 地球温暖化対策とSDGsの達成を同時に取り組んでいくためには、板橋区ではどのような方策が重要だと思いますか。(〇は5つまで)



総合的な施策	1. 地球温暖化防止に関する計画による総合的な対策の推進
脱炭素まちづくり	2. 公共交通機関（鉄道やバスなど）の利用促進事業 3. 省エネルギー型街路灯（ソーラーLED街路灯など）の設置 4. TDM（交通需要マネジメント）※1の検討 5. エネルギーの面的利用※2の推進（建物間における排熱の融通） 6. スマートシティ※3の推進
廃棄物・リサイクル	7. ごみの減量、リサイクルの推進
緑化の推進	8. 植樹や樹木の保全などによる緑化の推進 9. 緑のカーテン、屋上緑化の導入 10. 校庭の芝生化（ヒートアイランド※4対策）
情報提供・普及啓発	11. 工場・事業所等の省エネルギー・温暖化防止技術の交流促進支援
支援制度	12. 温暖化防止などの活動に取り組む団体の活動支援 13. 区民・事業者等の協働による温暖化防止の取り組みの実施 14. 環境ビジネス・環境産業の推進支援 15. 事業者による環境マネジメントシステム※5（ISO14001、EA21など）の認証取得支援 16. 住宅用太陽光発電の導入支援
環境教育	17. 地域、エコポリスセンター、小中学校・幼稚園などとの連携による環境教育・環境学習の推進
区の率先行動	18. 公共施設における再生可能エネルギー・省エネルギー設備・機器の率先導入 19. 災害に強いまちづくりの推進
その他	20. その他（ ）

※1 自動車の効率的利用や公共交通への利用転換など、交通行動の変容を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、道路交通混雑を緩和していく取り組み。

※2 施設単位ではなく、複数の施設が協力し、効率よくエネルギーを利用すること。

※3 建物や公共交通機関などの社会インフラに対し、ICTなどを活用してエネルギーの利用を総合的に管理・制御し、エネルギーを効率的・安定的に利用できるようにしたまちの姿

※4 都市部において郊外部よりも気温が高くなる現象

※5 自治体や企業などの組織が、その活動から生じる環境への影響を、自主的・継続的に改善していくための経営方法や仕組み。国際標準化機構が発行している国際規格「ISO14001」や、環境省が作成した「エコアクション21（EA21）」、板橋区が独自に作成した「板橋エコアクション（IEA）」などがある。

問 2 9 地球温暖化対策について、どの媒体で情報提供を行うとわかりやすいですか。

(〇は3つまで)



1. テレビ
2. 新聞
3. インターネット
4. ラジオ
5. ソーシャルネットワークサービス (SNS)
6. 書籍・雑誌
7. 区の広報紙 (広報いたばし等)・ホームページ
8. 国や都の広報紙・ホームページ
9. メールマガジン
10. シンポジウム・講演会・社会教育事業
11. その他 ()

さいごに

問 3 0 本アンケートの回答を通して、地球温暖化対策についてあなたの感想を聞かせてください。(〇は1つ)

1. 現在行っている地球温暖化対策以外にも取り組めることがわかったので、もっと取り組みを広げたい
2. 地球温暖化対策の大切さを改めて理解することができたので、引き続き現在行っている取り組みを続けたい
3. 今回のアンケートを契機に、地球温暖化対策の取り組みを始めたい
4. 今回のアンケートによって、地球温暖化対策の大切さがわかった
5. 地球温暖化対策は必要ない (その理由)

=====地球温暖化対策についてのご意見をご自由にお書きください。=====

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。